

大麦管理情報 (第5号)

1 気象経過

- (1) 12月：平均気温は6.3℃（平年差+0.6℃）と平年並み、降水量は219.0mm（平年比89%）と平年並みだった。日照時間は62.2時間（平年比82%）と少なかった。
- (2) 1月：平均気温は3.4℃（平年差+0.7℃）と高く、降水量は187.5mm（平年比72%）とかなり少なかった。日照時間は82.5時間（平年比121%）とかなり多かった。
- (3) 2月：平均気温は4.9℃（平年差+1.9℃）と高く、降水量は111.5mm（平年比65%）と少なかった。日照時間は86.1時間（平年比100%）と平年並みだった。
- (4) 積雪5 cm以上の日数は、2月末日現在で9日と、近年の45日、昨年の64日に比べ少なくなっている。

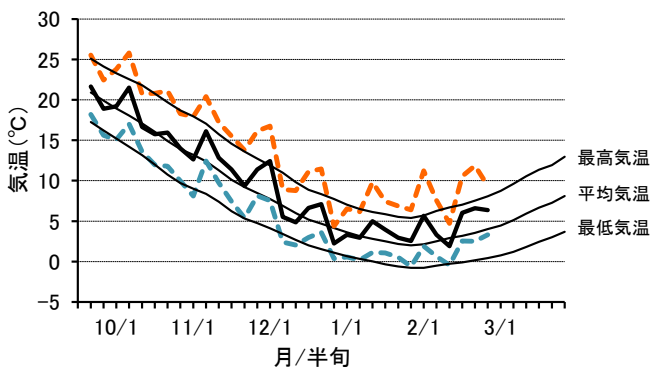


図1 気温の推移 (富山地方気象台)

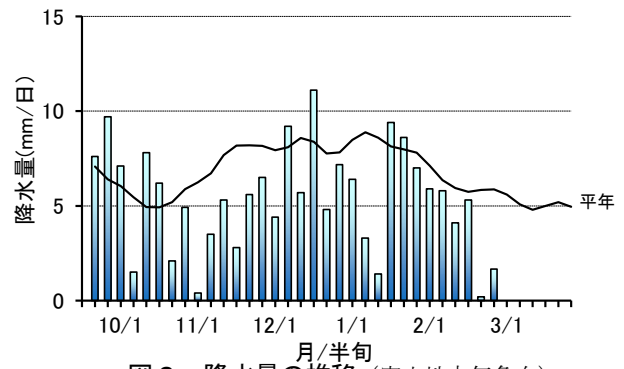


図2 降水量の推移 (富山地方気象台)

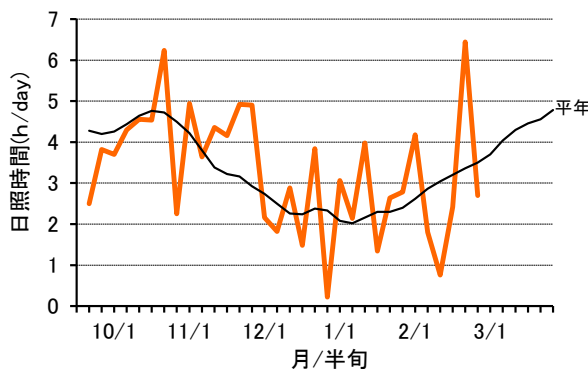


図3 日照時間の推移 (富山地方気象台)

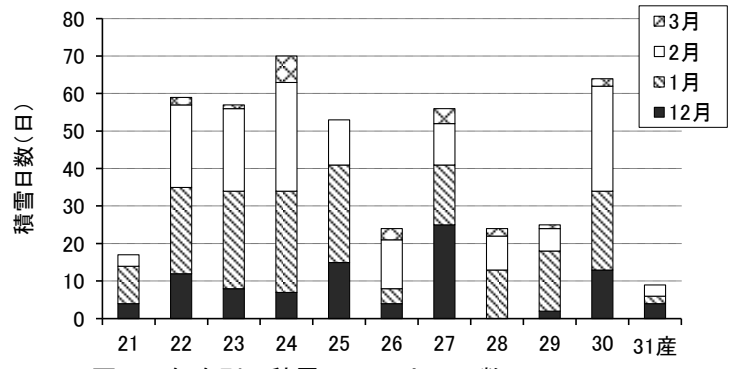


図4 年次別の積雪5 cm以上の日数 (富山地方気象台)

注) 31年産は、2月末現在の日数

2 生育概況

- (1) 草丈は、平年より長く（平年差+4.4cm）なっている。
- (2) 茎数は、平年よりやや少なく（同-79本/m²）なっている。
- (3) 葉齢は、平年より進んでいる（同+1.4葉）。
- (4) 葉色は、平年よりやや濃く（同+3.6）なっている。
- (5) 幼穂長は、4.2mmで、平年よりかなり進んでいる（同+2.2mm）。

表1 大麦生育観測ほ等調査結果（3月1日）

（播種様式：ドリル播）

	播種日 (月/日)	苗立数 (本/m ²)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (葉)	葉色 (SPAD)	幼穂長 (cm)
				(本/株)	(本/m ²)			
31年産	10/8	178	24.8	4.2	731	10.0	43.4	0.4
30年産	10/5	197	17.4	4.1	710	8.2	38.4	0.1
平年	10/6	176	20.4	4.6	810	8.6	39.7	0.2

注) 平年は21~30年産の平均

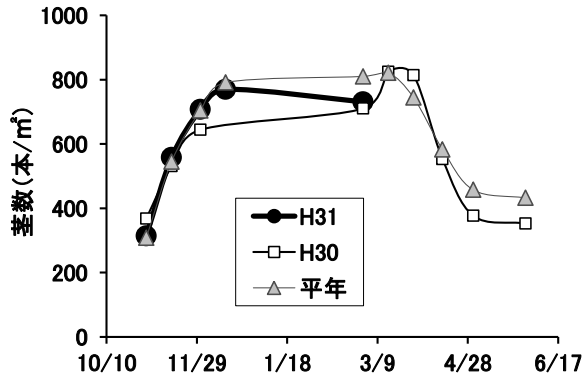


図5 茎数の推移

注) 平年は21~30年産の平均

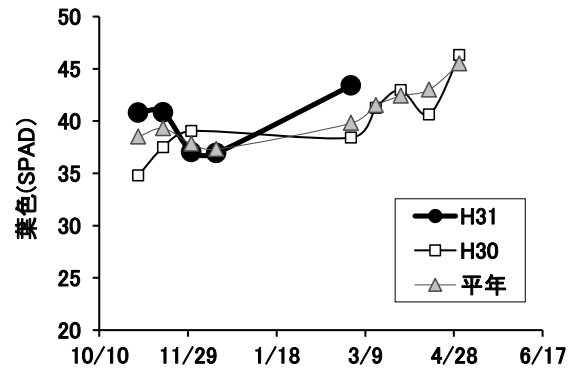


図6 葉色の推移

注) 平年は21~30年産の平均

3 当面の技術対策

(1) 排水対策

- ・ほ場の排水状況の点検を行い、雨水等がほ場内に停滞しないよう、排水溝の手直しを行うとともに、深く掘り下げた排水口への連結を徹底する。

(2) 消雪後追肥

①分施肥栽培

- ・生育が早くなっているため、まだ消雪後追肥を施用していないところでは速やかに追肥を施用する。
ただし、生育が旺盛な場合は減肥する（表2）。

②肥効調節型基肥栽培

- ・肥料成分の溶出が登熟後半まで続くため、追肥は行わない。

(3) 早めの作業準備

- ・本年は積雪日数が少ないため、出穂期は平年（4/22）より早い4月3半旬頃と見込まれる（図7）。
- ・防除など今後の管理作業が遅れないように、作業準備を整えておく。

表2 分施肥栽培の施肥量の目安

茎数	10a当り窒素追肥量
少～並	4 kg
多	2～3 kg

注) 茎数多：m²当たり1,200本以上

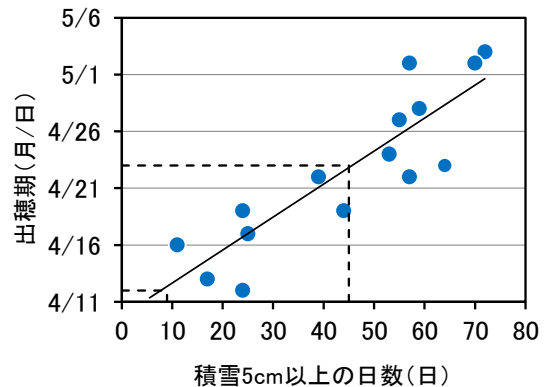


図7 積雪5cm以上の日数と出穂期の関係

注) 生育観測ほ H15~30年産

H31年産の積雪日数は9日